

こころ
を
支える
ために
からだ
を
求めた

Platonic Sex

プラトニック・セックス

加賀美早紀 オダギリジョー ★ 野波麻帆 石丸謙二郎 根岸季衣 ★ 加勢大周 ★ 阿部寛

原作・監修:飯島愛(小学館刊) 監督:松浦雅子 脚本:森下佳子 主題歌:「夢追い虫」スピッツ(ユニバーサル・レコーズ) 音楽:佐橋俊彦(オリジナルサウンドトラック/ユニバーサル・レコーズ)

制作:亀山千広 渡辺スギ 企画:関一由 亀井修 遠谷信幸 エグゼクティブプロデューサー:池間秋史 林秀樹 プロデューサー:佐倉寛二部 瀬山麻土香 アソシエイトプロデューサー:山下曜人 大澤剛 黒田知美 編集:高瀬比呂志 撮影:渡辺三雄 録音:野中英雄 美術:及川一 編集:川島章三 スクリプター:菅川悦子
監督補:井上陽 制作担当:白石治 アニメイトプロデューサー:宮内貴子 企画協力:小滝祥平(アストロ) 河村光廣(アーク・メディア) 制作協力:クロスメディア 配給:東宝 製作:プラトニック・セックス製作委員会(ワジテレビ/タナベエンターテインメント/小学館) ©2001プラトニック・セックス製作委員会

www.platonic-sex.net

2001年4月 全10話 毎週月曜 19時30分

11

家出・同棲・中絶・援交・自殺未遂、AV出演…
飯島愛 その衝撃の告白、待望の映画化！

飯島愛が、今までの人生を包み隠さず綴った「プラトニック・セックス」。衝撃的な告白の中に描かれていく、恋人との真剣な恋愛、親への反抗、そしてお金と引き換えに失ったもの…。それら“自分の過去を全て引き受けて初めて今の自分がある”という強い姿勢は、10代の女の子などを中心に激しい共感を呼び、100万部を超える大ヒットとなった。そして、2001年秋。いよいよこの衝撃の大ベストセラーが映画になる。



さらに過激、そして切ないラブストーリー

より過激で、
より切ない「プラトニック・セックス」を
演じられる女優を求めて、
映画版「プラトニック・セックス」の主演・愛役は、
オーディションが行われた。
日本全国から12083通の応募が殺到する中、
書類選考、演技審査を経て選ばれたのは、
加賀美早紀（16歳）。
また、愛が初めて本当に愛する男、敏海役には今、



愛する人とのセックス…、
それだけが私の心を浄化する—

17歳の誕生日——。

友人たちにレイプされ傷つき、
助けを求めた家族にも
見放された

あおい（加賀美早紀）は、



校庭の屋上から
自殺を
図ろうとしていた。
今まさに
飛び降りようと身構えたその時、



最も注目される若手俳優
オダギリジョーが抜擢。

その他、野波麻帆、加勢大周、
阿部寛など個性派かつ

豪華なキャストが顔を揃える。

吉川ひなの（「デボラがライバル」）、
米倉涼子（「ダンボールハウスガール」）など
女優の演出に見事な手腕を発揮する
松浦雅子監督が、
女の目線から、
映画でしかできない

「プラトニック・セックス」に挑む！！

あおいは携帯に偶然入った
間違いメールに
心を救われ、
死ぬのを思い留まる。
しかしそのまま家に帰ることも出来ず、夜の街をさまよい歩き、
“愛”という源氏名をつけ、
ホステス、援助交際などに身を染めてゆく。

ただ、お金のために
その日暮らしを続ける愛。
そんな愛を支えていたのは、
間違いメールの相手・トシ（オダギリジョー）と
続けていた、ささやかな交換メールだった。



自分の仕事を隠しながらも、トシと出会い、
人を愛することを知った愛は、
トシと同棲をはじめますが、その時すでに、
5本500万円で契約した
アダルトビデオ出演の仕事は
始まっていた…。



その過激で純粋な想いが今一つの物語となる

10月より東宝洋画系ロードショー！

有楽町マリオン前
ニュー東宝シネマ
☎ 03(3571)1946